

「総人のミカタ」2019 年度末シンポジウム開催！

2週連続で、下記の通りシンポジウムを開催します。本シンポジウムでの議論は、刊行予定の「総人のミカタ」書籍に収録される予定です。お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！！

詳細はこちら▶

総人のミカタ

検索



web ページ

領域交差型院生FD「総人のミカタ」
出版企画 連動イベント

2019年度末シンポジウム①

2020年2月14日(金)

15:00-18:00

京都大学 吉田南構内 総合人間学部棟1102

学際性を育て合う

■ 総人のミカタが目指す「学際性」とは、しばしば想起されるような広く浅い知識の獲得や分野をまたいだだけの共同研究ではなく、自己相対化を促し外部との位置関係を把握するものである。出版予定の論考は、総人のミカタの実践において、この学際性がどのように具体化されるのか、また、そこで習得された学際性がどのように専門性を深めうのかを論じている。■ところで、仮にこの意味での「学際性」に意義を認めるとして、それは誰にとって必要なものなのだろうか。あるいは、総人のミカタの実践を超えて「学際性を育て合う」ためにはどのようにすればよいのだろうか。本シンポジウムでは、執筆者のディスカッションによって、以上の問いに暫定的にであれ答えることを目指したい。

登壇者

磯部 洋明 氏 (京都市立芸術大学 准教授)

高梨 克也 氏 (京都大学 研究員)

佐野 泰之 氏 (京都大学 特定助教)

総人のミカタより：

萩原 広道・真鍋 公希・村上 絢一

主催：「総人のミカタ」運営委員会 / 後援：京都大学大学院人間・環境学研究科 学際教育研究部 / お問い合わせ：「総人のミカタ」webページよりお問い合わせください。



領域交差型院生FD「総人のミカタ」
出版企画 連動イベント

2019年度末シンポジウム②

2020年2月21日(金)

15:00-18:00

京都大学 吉田南構内 人環地下大講義室

共同性を育て合う

■研究はしばしば一人だと思われている。しかし、私たちが論文に記す言葉は、一人で作り上げたものでも、ひとりでの出来上がったものでもない。普段は意識されなくても、様々な人の研究、助言や指導、対話や会話が、記された言葉一つ一つの背景にある。教育も同様だ。つまり、大学の営みは、注意深く育まれた共同性の中で成立している。■異なる属性を持つ者同士が言葉を交わすとき、領域が交差するようなコミュニケーションが生じうる。だが、それは自動的に生まれるのではない。様々な仕組みや文化がその動的な関係性を支えている。本シンポジウムでは、大学内外の創発的な相互作用と、それを支える共同性がどのように育まれるのかを検討する。総人のミカタを一例として用いつつ、それに留まらない創発的な領域交差の可能性を考察する。

登壇者

大山 牧子 氏 (大阪大学 助教)

朱 喜哲 氏 (大阪大学 招聘研究員)

成瀬 尚志 氏 (大阪成蹊大学 准教授)

総人のミカタより：

杉谷和哉・須田 智晴・谷川 嘉浩

主催：「総人のミカタ」運営委員会 / 後援：京都大学大学院人間・環境学研究科 学際教育研究部 / お問い合わせ：「総人のミカタ」webページよりお問い合わせください。

